

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義	
科 目 名		精神の健康障害への看護		必修/選択の別		必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2学年		学期及び曜時限			教室名	新館2階3階
担 当 教 員		緑川 大介 藍野花園病院看護師 中辻 友華	実務経験と その関連資格	医師 さわ病院等で計10年勤務 看護師 看護師				
《科目目標》								
①統合失調症、双極性障害、強迫性障害など主な精神疾患の診断の特徴、症状および治療について理解する ②統合失調症、双極性障害、強迫性障害など主な精神疾患の看護について、事例を通して学ぶ								
《成績評価の方法と基準》								
【評価方法】筆記試験100% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
精神看護学②精神障害と看護の実践 メディカ出版								
《授業外における学習方法》								
復習内容は、授業以外での準備学習の具体的内容を参照								
《履修に当たっての留意点》								
精神疾患の病態理解に際しては、生体機能学の脳の構造と機能と関連付けること。精神疾患の看護の理解に際しては、精神の健康増進における看護での対象理解の視点およびケアの方法と関連付けること。本科目は精神看護実践論での精神疾患の看護展開につながる科目である								
授業の方法			内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神疾患と精神症状について、基本的な知識を得る			教科書② 1章	主な精神症状と特徴	
		各コマにおける授業予定	・精神疾患の主な症状 ・精神症状を見る視点 ・精神疾患の診断分類 ・精神疾患と身体疾患の異なる点					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	統合失調症の診断・症状・治療について理解する			教科書② 2章	発生に関連する神経伝達物質 陽性症状、陰性症状 抗精神病薬の種類特徴 精神療法	
		各コマにおける授業予定	・統合失調症の診断と特徴 ・統合失調症の症状 ・統合失調症の診断、治療					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	抑うつ障害と双極性障害の診断・症状・治療について理解する			教科書② 2章	発生に関連する神経伝達物質 うつ状態と躁状態 抗うつ剤の種類特徴 炭酸リチウムとリチウム中毒	
		各コマにおける授業予定	・抑うつ障害の診断と特徴 ・抑うつ障害の検査・治療 ・双極性障害の診断と特徴 ・双極性障害の検査・治療					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	不安障害、強迫性障害の診断・症状・治療について理解する			教科書② 2章	認知行動療法	
		各コマにおける授業予定	・不安障害の種類(限局性恐怖症、社交不安障害、パニック障害、広場恐怖症、全般不安障害) ・不安障害の検査、治療 ・強迫性障害の診断と特徴 ・強迫性障害の症状、治療、検査					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	ストレス因関連障害の診断・症状・治療について理解する			教科書② 2章	PTSDとASDの違い PTSDの症状	
		各コマにおける授業予定	・心的外傷およびストレス因関連障害の診断と特徴と疫学 ・ASDとPTSDの症状 ・PTSDの治療					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食障害、パーソナリティ障害の特徴と症状・治療について理解する	教科書② 2章	摂食障害の分類 パーソナリティ障害の分類
		各コマにおける授業予定	・摂食障害の分類、疫学、症状、検査、治療 ・パーソナリティ障害の定義と分類 ・パーソナリティ障害の症状と特徴、治療		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	物質関連障害の特徴と症状・治療について理解する	教科書② 2章	アルコール依存症の離脱症状、治療
		各コマにおける授業予定	・物質関連障害の分類と定義、疫学 ・物質関連障害の症状、治療		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	統合失調症(急性期)患者の看護について理解する	教科書② 9章	行動制限時の看護 悪性症候群、水中毒
		各コマにおける授業予定	・統合失調症急性期にある患者の看護の視点 ・急性期症状の回復に向けた看護		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	統合失調症(慢性期)患者の看護について理解する	教科書② 9章	SST、心理療法
		各コマにおける授業予定	・統合失調症慢性期にある患者の看護の視点 ・社会復帰に向けた看護		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	うつ病患者の看護について理解する	教科書② 9章	TALKの法則 修正型電気痙攣療法時の看護
		各コマにおける授業予定	・うつ状態患者の看護の視点 ・症状安定に向けた看護 ・安全確保に向けた看護		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーソナリティ障害患者の看護について理解する	教科書② 9章	陰性感情、関わり方
		各コマにおける授業予定	・パーソナリティ障害のある患者の看護の視点 ・安定した人間関係構築に向けた看護		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	パニック障害患者の看護について理解する	教科書② 9章	予期不安 認知行動療法
		各コマにおける授業予定	・パニック障害のある患者の看護の視点 ・症状コントロールに向けた看護		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食障害患者の看護について理解する	教科書② 9章	リフィーディング症候群
		各コマにおける授業予定	・摂食障害のある患者の看護の視点 ・回復に向けた看護		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	被虐待児症候群、解離性障害患者の看護について理解する	教科書② 9章	共感疲労
		各コマにおける授業予定	・患者の特徴、主な症状 ・人間関係構築に向けた看護		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ 終講試験		
		各コマにおける授業予定	・全体のまとめ ・筆記試験		